

JGN II イベント利用報告書

イベント番号(085)

提出日 2005年10月11日

(1) イベント名

東北大学サイエンスカフェ特番中継（東北 JGN2 リサーチセンター）

(2) イベント概要

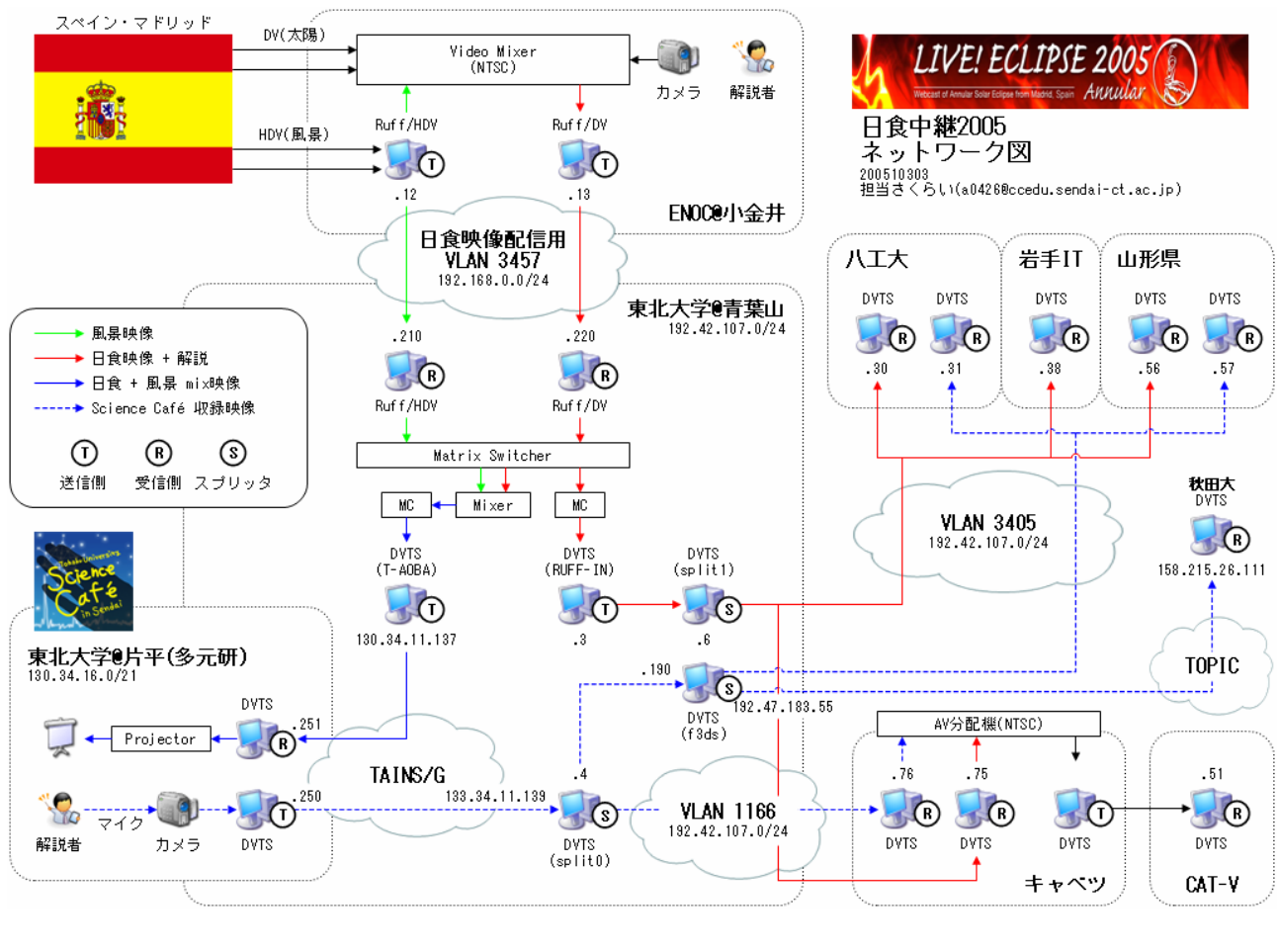
10月3日に観測されるスペインからの日食の模様を JGN2 により東北 JGN2RC で受信するが、同時にその映像を利用し、東北大学サイエンスカフェのスペシャル版として、同大学理学研究科土佐教授による解説を交えて、一般の方にも公開し、天文について語り合う場を設ける。

東北 JGN2RC では、日食のライブ中継映像の受信とその中継、さらにこの会場からの映像の配信を行う。

東北大学サイエンスカフェ会場からの映像は、地元のケーブルテレビ局のキャベツまで DV/IP で送信し 17:30 から 18:10 まで生放送された。

(3) JGN II 利用の概要

日食の模様を NiCT 小金井から Ruff システムで2系統（DV/HDV）受信し、それを東北大平キャンパスのサイエンスカフェ会場および受信地へ中継した。また、サイエンスカフェ会場からの映像も受信地へ送出した。その一つは地元のケーブルテレビキャベツにも送られ、番組として生放送された。



(4) イベント参加人数

- ・東北大サイエンスカフェ会場 延べ150人以上
- ・東北2 青葉山中継拠点 視聴者: 5名程度
- ・東北6 山形県庁15F e-ラーニングルーム: 10名ほど
- ・東北3 八戸工業大学 システム情報工学棟 2F I204 教室: 延べ6名程度

「実施協力: 仙台電波高専」

(5) 実施の評価等

今回の映像配信は、東北大学サイエンスカフェ特番中継のための映像配信を主目的とし、東北 JGN2RC の研究プロジェクトである地域間広帯域コンテンツ流通基盤実験 (JGN2-A16028) と CATV コンテンツ流通実験 (JGN2-A17007) へ取り組みもかねて、Ruff システム (DV/HDV) の品質、ケーブルテレビ局同士での高速ネットワークを利用した素材流通の可能性、などについての検証と、東北 JGN2RC にて研究を進めている分散型ストリーム分配システムである S3 (従来の DVTSP の後継) の実証評価なども進めた。NiCT 小金井からの日食の映像は大変高いクオリティで受信することができた。一方、現地スタッフを移した映像はだいぶブロックノイズが載っており見苦しく、音声も聞き取りづらかったが、サイエンスカフェではその映像は利用しなかったため、問題にはならなかった。東北 JGN2RC からの中継映像についても、各受信地では、問題なく受信できており、高い評価を得ることができた。ケーブルテレビ局で行った生放送についても、特に支障なく、IP による映像素材流通の可能性を示すことができた。



中継時のオペレーション風景



中継機材